

コ/ケ M 「機動戦士ガンダム」

高機動型ザク（R-3S）/ゲルググ先行試作型

機体名	高機動型ザク（R-3S）	画像
型式番号	MS-06R-3S	
英語名	ZAKU II R3S	
所属	ジオン公国軍	
パイロット	トーマス・マイヤー軍曹	
装甲材質	超高張力鋼	
装備	ビームライフルヒートサーベル 50mm バルカン × 2	
作品名	モビルスーツコレクション・ノベルス ACT.7 閃光の源	
参考書籍	SD クラブ第 14 号ガンダムオフィシャルズ EB 機動戦士ガンダム MS 大図鑑 PART.4 MS 開発戦争編	

内容

ガンダムに対抗できる機動力を得るためにザクを使い機構試作用に作られたのがこの機体である。

MS-06R-2 の機体を改良し、MS-11（後の MS-14）用部品を大量に使い短期間で完成度の高い試作機を作り上げた。

当機はムサイ級ホーカムに配備されビームライフルのテストを行い、完成にたどりつく。

が、完成間もなく敵戦艦 2 隻と遭遇し GM 2 機と交戦、僚艦ハボックと 2 機のザク（ルドルファー中尉機、ロバート軍曹機）を失う。

本国に持ち帰らなければならない試作機である MS-06R-3S とビームライフルであったが、ホーカムも追いつかれてしまい、やむを得ず遅れて出撃、トーマス・マイヤー軍曹によって襲撃してきた 2 機の GM を撃破することに成功している。

備考

当機はゲルググ先行試作型とも言われるが、同様にゲルググ先行試作型と呼ばれる MS-06R-3 ザク III との区別が不鮮明である。

同機体なのか、バージョン違いなのか・・・。

各資料も誤植なのかどうかの判断がつかないものが多く疑問が残る。

ガンダムオフィシャルズでは、「MS-06R-3S と記載した資料も存在する」と R-3 の方が正規のものと思われる記述がされているが、エピソードが残っているのは MS-06R-3S である当機の方である。

名称については呼称が多く定まらないとしている。

エピソードについてはガンダムオフィシャルズ上では規範外として収載を見送られている。

ただし、当機はあくまでも「ゲルググ先行試作型」であり、後のゲルググそのものに繋がるプロトタイプゲルググではないので注意。

■ 関連項目

- ・ ザク III (R-3)
- ・ ゲルググ先行試作型

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	19.0m
全長	
本体重量	43.5t
全備重量	73.7t
ジェネレーター出力	1390kw
スラスター推力	56600kg
センサ有効半径	6200m